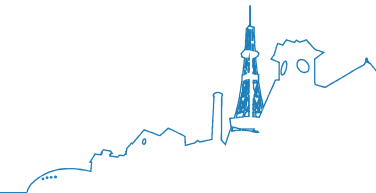


札幌市における 国際会議等誘致の取組と現況



I 国際会議等開催の現況



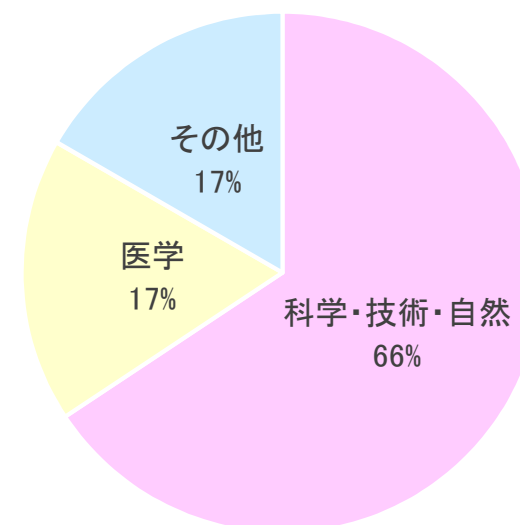
■ 国際会議の開催状況

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
JNTO基準	101件	107件	115件	116件	109件	102件	国内10位
ICCA基準	22件	18件	21件	28件	20件	25件	国内5位

【ICCAランキング（2019）】

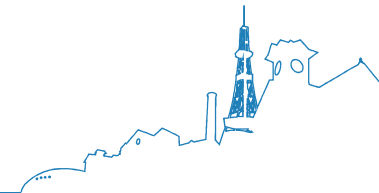
都市名	件数	国内順位	国際順位
東京(23区)	131件	1位	10位
京都市	67件	2位	35位
神戸市	35件	3位	82位
福岡市	28件	4位	108位
札幌市	25件	5位	117位
横浜市	21件	6位	143位
大阪市	21件	6位	143位

【分野別開催割合（JNTO2019）】



- 北海道大学等の市内の大学研究機関に、学術系の国際会議のキーパーソンとなる人材が集積
- 分野別では、科学・技術・自然系、医学系の割合が高い

I 国際会議等開催の現況

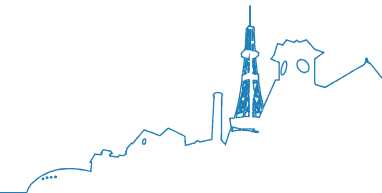


■ 政府系国際会議の主な開催実績

開催年月	会議名	参加者数 (うち海外参加者数)
2010年6月	2010年日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合	2,500人 (2,200人)
2012年6月	第27回アジア消防庁協会総会	528人 (71人)
2013年7月	国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合	185人 (155人)
2013年11月	第13回日中韓特許庁長官会合	225人 (25人)
2013年11月	第4回日インドネシア交通次官級会合	70人 (40人)
2014年2月	国際電気通信連合電気通信標準化部門 第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合)	232人 (146人)
2015年9月	第7回日・ASEAN諸国防衛担当当局次官級会合	50人 (47人)
2018年1月	第3回日・ASEAN航空協定交渉会合	34人 (25人)
2019年12月	第7回中小企業協力に関する日露会合	103人 (22人)

- 札幌市産業振興ビジョンにおける重点産業分野のひとつである I T に関する会議が開催されている
- ASEAN地域を中心にアジアの方々が参加される会議が多く開催されている

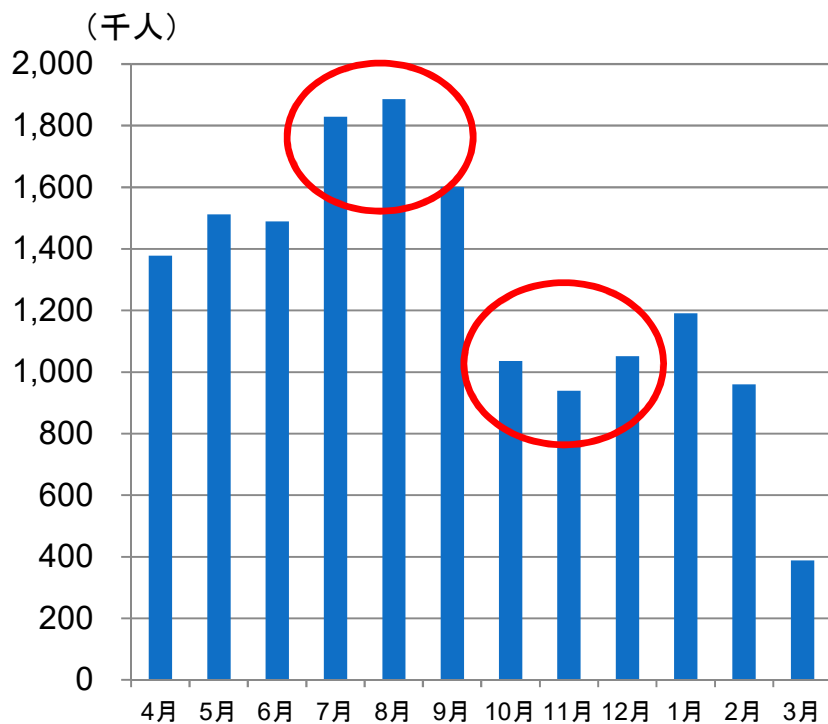
I 国際会議等開催の現況



■ 月別の動向

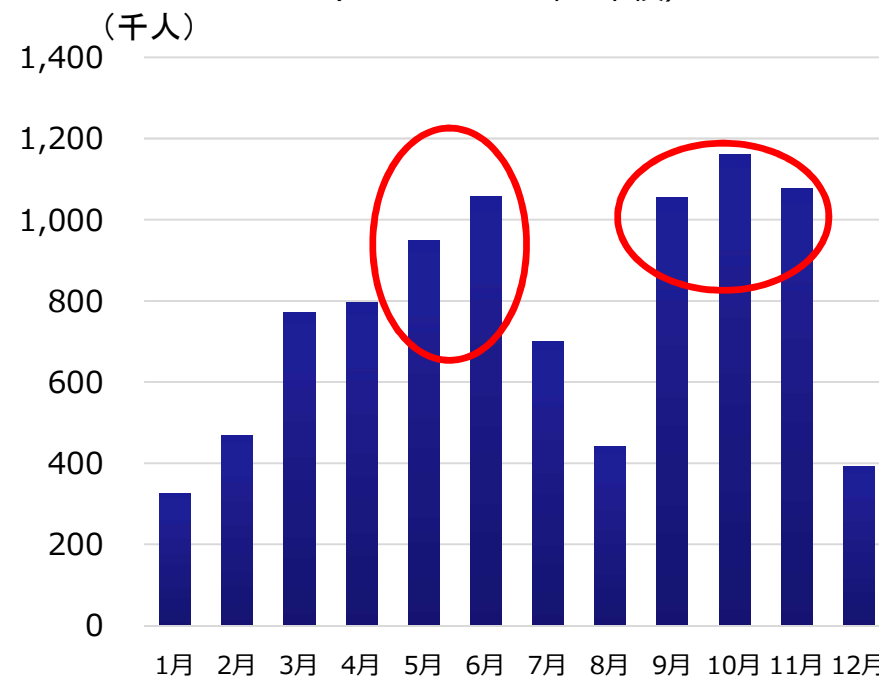
(JNTO出典・国際会議統計より)

【来札観光客数 (2019年度)】



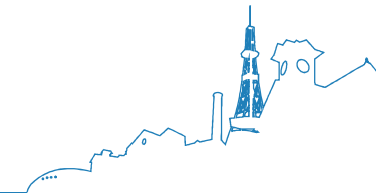
【国内における国際会議の参加者数】

(2015~2019年の累積)



- 札幌観光のハイシーズンは7月～8月で繁忙期と閑散期の差が大きい
- 8月 (188万人) と11月 (93万人) では観光客が半分以下に落ち込む
- 国内における国際会議の参加者数が多い時期は春、秋に集中
- 国際会議等の誘致は札幌観光における閑散期の落ち込みを底上げするために、開催時期も意識しながら活動

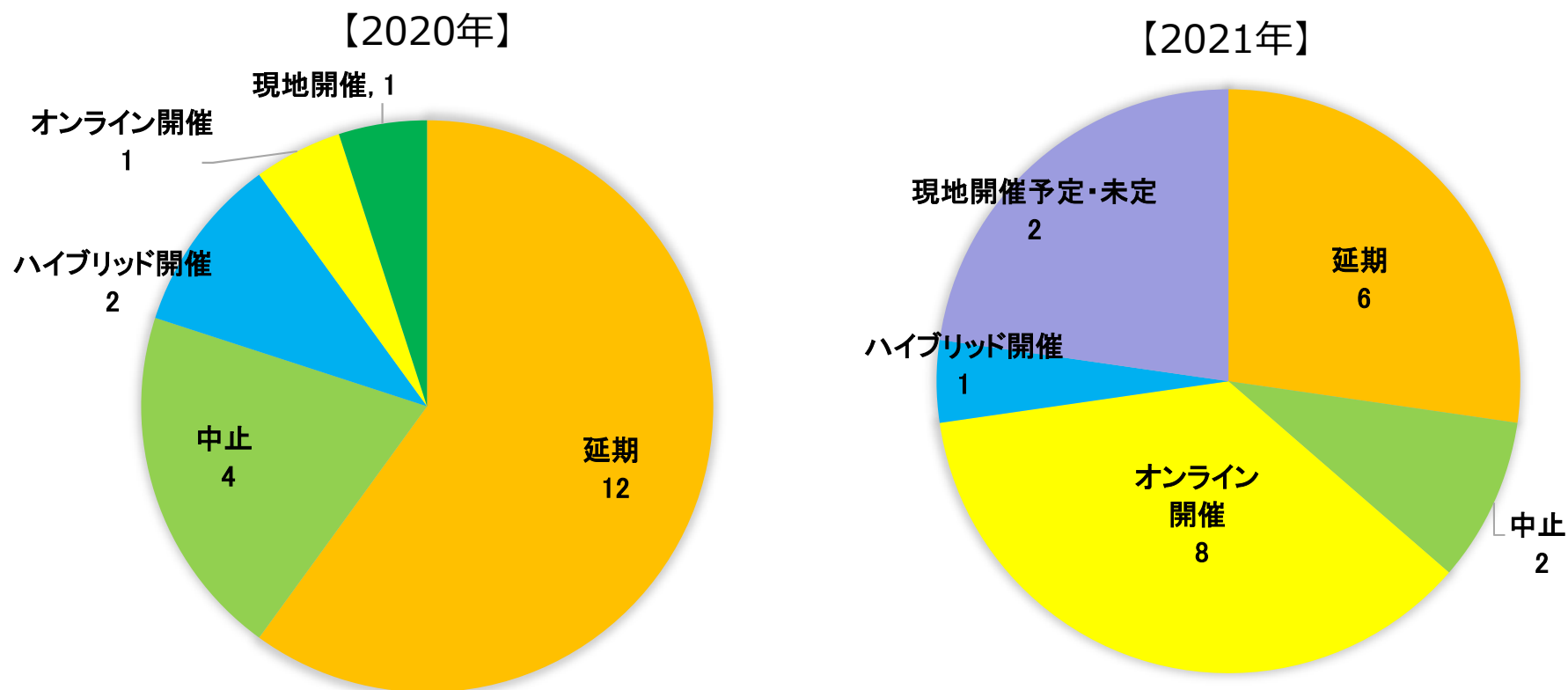
I 国際会議等開催の現況



■ 新型コロナウイルスの影響

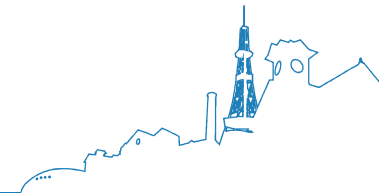
令和3年5月現在
札幌コンベンションビューロー把握分

・2020・2021年札幌市内で開催予定であったICCA基準国際会議の開催状況



- 2020年は、数年に一度開催される国際会議が多く、翌年度以降へ延期する傾向にあった。
- 一方、2021年はオンライン開催する国際会議が増加。ICCAが発表したレポートにおいても、2021年に開催を予定している会議の半分以上がオンライン開催であり、国際会議のオンライン化が進んでいる。

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ ウィズ・コロナにおける誘致の取組

ハイブリッドコンベンション助成金

オンラインを併用するハイブリッドコンベンションの開催に対し、オンライン配信に係る経費の補助制度を創設

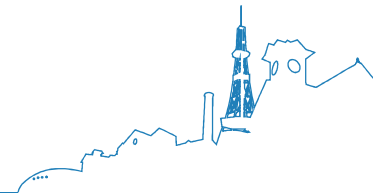
- 補助対象：現地参加者総数100人以上かつ道外参加者割合50%以上のコンベンション
- 補助額：オンライン配信に係る経費の50%以内（上限100万円）

札幌コンベンションセンターの機能強化

ハイブリッド会議への対応と感染症対策の視点から札幌コンベンションセンターの機能強化を実施

- サーマルカメラ、アクリルパーテーション、各室前に消毒液を設置
- 独自のガイドラインの策定
- ハイブリッド会議への対応のため、インターネット回線の強化
- 映像配信の需要を見据え、プロジェクターのアップグレード

II 国際会議等誘致の取組



■ 誘致・セールス活動

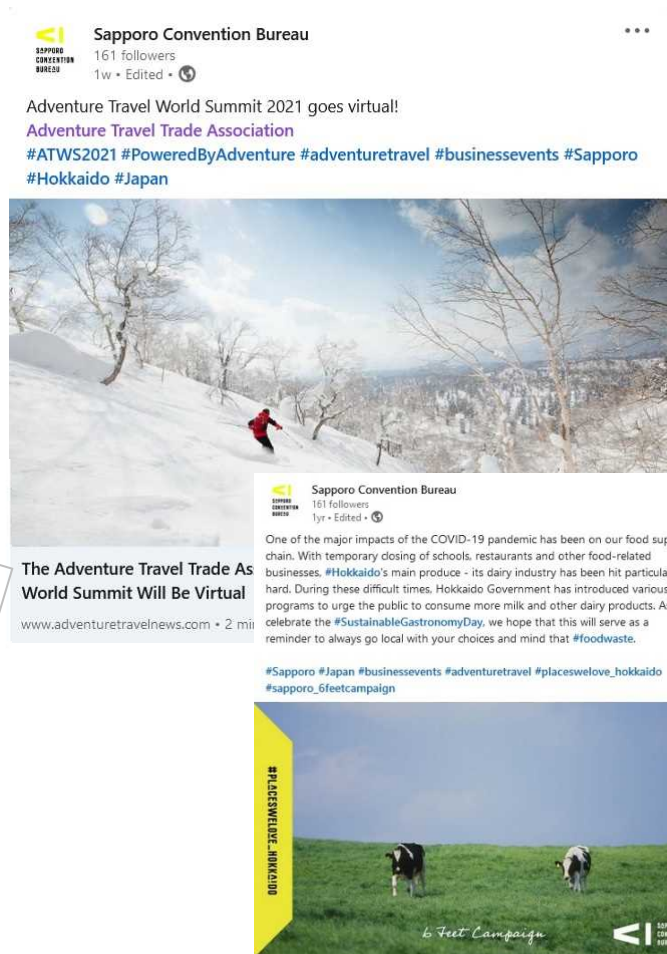
MICE専門誌やSNSを活用したプロモーション

- MICE専門誌「Boardroom」への札幌特集記事掲載
- LinkedIn等SNSを活用した札幌の情報発信

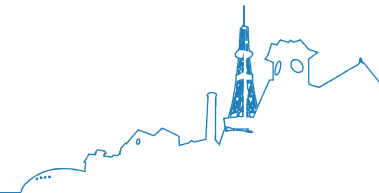


グローバルMICE都市

- 2015年に観光庁により「グローバルMICE都市」に選定されたことから、現在、国とも連携しながらMICE誘致力を強化



Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 開催支援・おもてなし

開催支援プログラム

- 外国語ボランティア
(インフォメーションデスクの設置、エクスカーション等でのガイド)
- 日本文化体験ボランティア
(茶道、着物着付、書道等の体験プログラム)



ユニークベニュー

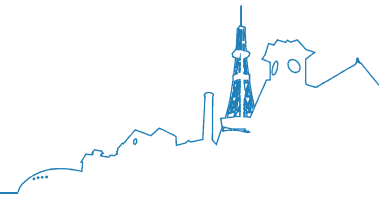
- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

«過去の活用事例»

大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼のガラスのピラミッド
JRA札幌競馬場 など



Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ サステナビリティ

札幌の取組

- GDS-Movement（環境配慮の国際的指標プログラム）への加盟（2016年）
- SDG s 未来都市に選定（2018年）
- フェアトレードタウンに認定（2019年）
- LEED Cities and Communities プラチナ認証の取得（2020年）
- 2050年「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、札幌市気候変動対策行動計画の公表と気候非常事態宣言を発出（2021年）



カーボンオフセットプログラム

NPO法人コンベンション札幌ネットワークと連携し、コンベンション参加者の移動や宿泊生じる二酸化炭素を地域の森で吸収する循環型モデルを構築



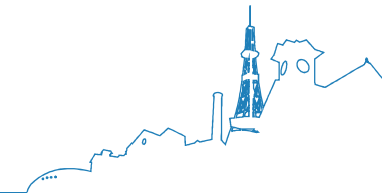
Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 主な会議開催エリア



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019m²
- 延床面積 20,310m²
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（(株)コンベンションリンクージ、(株)東洋実業）



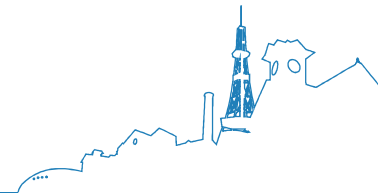
■ （仮称）新MICE施設

- 整備地 中島公園駅周辺地区 ※地下鉄さっぽろ駅から5分、すすきのまで徒歩圏内
- 事業の進捗状況
新型コロナウイルス感染症の流行により、著しい社会経済情勢の変化が生じたことから、本整備事業の実施を延期しました。今後は、ポストコロナを見据えた必要な検討を行います。

主な諸室	面積	室数
メインホール	2,000m ² 程度	1室
展示場	4,000m ² 程度	1室
会議室	合計2,000m ² 程度	7室程度

※ 平成30年（2018年）5月策定【(仮称)新MICE施設整備基本計画】より

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



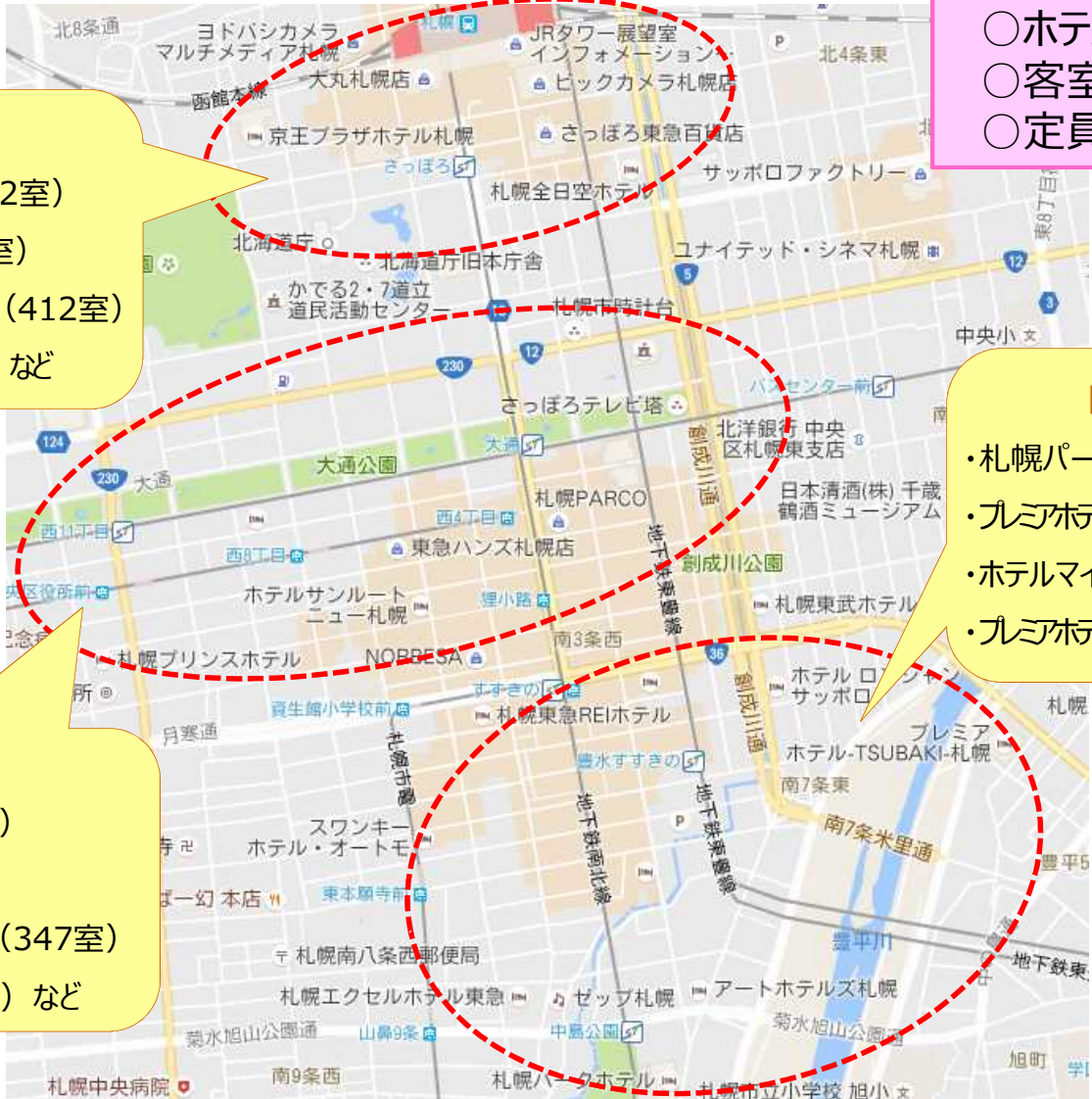
■ 宿泊施設

札幌市内のホテル	
○ホテル数	230軒
○客室数	28,804室
○定員数	56,586人

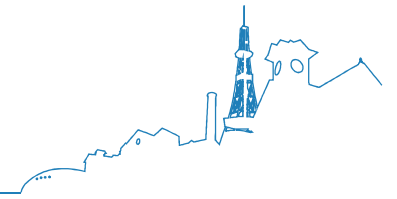
- 【札幌駅エリア】**
- ・JRタワーホテル日航札幌（342室）
 - ・京王プラザホテル札幌（493室）
 - ・ANAクラウンプラザホテル札幌（412室）
 - ・センチュリーロイヤルホテル（300室）など

- 【すすきの・中島公園エリア】**
- ・札幌パークホテル（216室）
 - ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌（322室）
 - ・ホテルマイステイズプレミア札幌パーク（419室）
 - ・プレミアホテル中島公園札幌（228室）など

- 【大通公園エリア】**
- ・札幌プリンスホテル（587室）
 - ・ロイトン札幌（294室）
 - ・札幌ビューホテル大通公園（347室）
 - ・札幌グランドホテル（494室）など



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ お問い合わせ先

- 札幌市経済観光局観光・MICE推進部
 - ・ TEL : 011-211-2376
 - ・ e-mail : kanko@city.sapporo.jp

- 公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
 - ・ TEL : 011-211-3675 (札幌)
 - 03-3216-5090 (札幌市東京事務所内)
 - ・ e-mail : convention@plaza-sapporo.or.jp